

令和8年度（2026年度） 名古屋市立大学大学院人間文化研究科

外国人研究生（10月入学生）

学 生 募 集 要 項

1 募集人員

若干名

2 出願資格

外国人であって、次の（1）及び（2）の両方に該当する者

（1）次のいずれかに該当する者

- ①令和8年8月末日までに、日本の大学を卒業した者又は入学時までに卒業見込みの者
- ②令和8年8月末日までに、外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は修了見込みの者
- ③外国の大学、その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの、又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年9月末日までに授与見込みの者

（2）次のいずれかに該当する者

- ①日本学生支援機構による日本語留学試験（EJU）の日本語で280点以上のスコア（記述、読解、聴解・聴読解の合計）を有している者
（ただし、2023年度2回目から2025年度2回目の試験に限る。）
- ②国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力（JLPT）のN1に合格している者
（ただし、2023年度2回目から2025年度2回目の試験に限る。）

3 出願期間及び方法

| | |
|------|-------------------------------|
| 出願期間 | 令和8年5月7日（木）～令和8年5月14日（木） 【必着】 |
|------|-------------------------------|

※出願は郵送（書留速達）に限ります。窓口での受付は行いません。

- ・出願書類は、EMS（国際スピード便）や書留速達等の配達記録が確認できる形式で郵送してください。期限までに到着しなかった場合は、受理しません。（期限内消印有効ではないので注意してください。）
- ・出願書類を送付の際は、必要事項を記入した本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を角2号の封筒（ご自身でご用意ください）に貼り付け、書留速達で郵送ください。本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を使用しない場合は、封筒の表面左下部に「人間文化研究科外国人研究生出願書類在中」と朱書きしてください。

◎出願書類郵送先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
名古屋市立大学 学生課 大学院人間文化研究科入試担当

◎出願に関する照会先

名古屋市立大学 大学院人間文化研究科入試担当
E-mail shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp
（日本語による電子メールのみでの対応になります）

4 出願書類等 注1

| | 書類等 | 摘要 |
|---|--|---|
| ① | 入学願書 注2 | <p>[本学所定用紙使用]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語で記入してください。ただし、氏名は漢字又は英文字により記載し、フリガナ欄にカタカナ表記してください。 写真は、正面、上半身、無帽、カラー、背景なし、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。 学歴は、初等教育（小学校相当）から入学、卒業（修了）ごとに記入し、大学等での研究生等、日本語学校又は専修学校等での在学歴があれば、記入してください。 記入欄が足りない場合は、入学願書をコピーして使用する（氏名欄記入すること）もしくは別に添付（様式自由）すること。 |
| ② | 卒業証明書 (卒業見込証明書) 注2、3、4 | <ul style="list-style-type: none"> 在籍又は最終学歴の教育機関の長が作成したもの。コピーは不可。 大学院修了(見込)者は、その修了(見込)証明書も提出してください。コピーは不可。 原本の提出ができない理由がある場合、必ず事前に相談してください。 出願資格の(1)③により出願する者は、卒業証明書に代えて資格を証明する書類を提出してください。 日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。(原本のコピーに書き込むのは構いませんが、原本に直接書き込まないでください。) |
| ③ | 成績証明書 注2、3 | <ul style="list-style-type: none"> 在籍又は最終学歴の教育機関の長が作成したもの。コピーは不可。 大学院修了(見込)者は、その成績証明書も提出してください。 原本の提出ができない理由がある場合、必ず事前に相談してください。 日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。(原本のコピーに書き込むのは構いませんが、原本に直接書き込まないでください。) |
| ④ | 卒業論文の要約等 これまでの研究概要 | 4,000字以内の日本語で作成してください。 (任意の様式で作成し、必ず氏名を記入してください。) |
| ⑤ | 研究計画書 | 1,200字程度の日本語で作成してください。 (任意の様式で作成し、必ず氏名を記入してください。) |
| ⑥ | 日本語能力を示す証明書 (日本留学試験の日本語又は国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験の証明書) 注3 | <p>【日本留学試験 (EJU)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年度2回目から2025年度2回目の間に受けた日本留学試験の日本語の「受験票または成績通知書のどちらかのコピー」又は、「EJU オンラインから印刷した成績確認書」を提出してください。 試験日に受験票または成績通知書の原本を持参してください。 |
| | | <p>【日本語能力試験 (JLPT)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年度2回目から2025年度2回目の間に受けた日本語能力試験の成績証明書を上記試験実施機関から直接本学へ令和8年5月14日(木)までに届くように郵送の手続きをとって提出してください。(送付先: 募集要項1ページ出願書類郵送先) |
| ⑦ | 公的機関発行の証明書 | 公的機関が発行した国籍又は市民権が明記されたパスポート、在留カード、運転免許証等で必ず本人の写真、氏名及び生年月日が記載された書類。 コピー可。 |

| | | |
|---|---|--|
| ⑧ | 希望指導教員との 連絡状況申告表 注4 | 〔本学所定用紙使用〕 日本語で作成してください。 |
| ⑨ | 入学検定料の納付証明書 (銀行で発行された受領書(外国送金証明書)のコピー) | <p>【日本国内から検定料を納入する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願者氏名により別添振込依頼書を使用し振り込んでください。 ・銀行等から受け取った「検定料納付証明書(B票)」を他の出願書類と一緒に提出してください。(「振込金(兼手数料)受領書(A票)」は入学志願者が保管してください。 ・振込手数料は志願者本人負担となります。 <p><振込方法> 支払方法：銀行振込 送金額：9,800円+手数料</p> <p>【日本国外から検定料を納入する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願者氏名により電信送金で下記の口座へ送金してください。 また、銀行で発行された受領書(外国送金証明書)のコピーを他の出願書類とともに提出してください。 <p><振込方法> 送金種別：電信送金 支払方法：銀行振込 送金額：9,800円+手数料 ※</p> <p>※<u>送金時に必要な手数料</u>(振込銀行手数料〈海外銀行分〉と支払銀行手数料〈日本国内銀行分〉の両方。途中経由銀行の手数料がかかる場合もあり。)は、<u>すべて志願者が負担してください。不足していた場合は出願受理できません。(出願期間までに検定料全額を納めたことが本学で確認できない場合も含む。)</u></p> <p>※<u>手数料は各自必ず金融機関等で確認した上で振込をすること。過不足が出ないように注意すること。検定料9,800円を超える金額で振り込んだ場合、返金する際の手数料は受験者負担となることがあります。</u></p> <p>※必ず日本円で送金してください。日本円以外の外貨で送金した場合、出願を認めません。</p> <p><振込口座> 銀行名：三菱UFJ銀行(The Bank of Mitsubishi UFJ, Ltd.) 支店名：滝子支店(Takiko Branch) 口座番号：1232518 受取人：公立大学法人名古屋市立大学(Nagoya City University) 受取人住所：〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 (1 Kawasumi, Mizuho-cho, Mizuho-ku, Nagoya-shi, Aichi 467-8601 JAPAN) スウィフトコード：BOTKJPJT</p> |
| ⑩ | あて名用シール | 〔本学所定用紙使用〕 ・返信先(本人)を明記してください。合否を通知するときに使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。 日本国外から出願する場合は、提出不要です。 |

注1 提出された出願書類等は返却しません。

注2 ②、③について再発行ができない証明書は、出願時にコピーを提出し原本は試験日に試験会場へ必ず持参してください。

また、入学手続きの際にも原本を確認しますので、必ず提出してください。確認後返却します。

注3 卒業（見込）証明書、成績証明書及び語学試験の成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名したことを証明できる書類（戸籍抄本など）の原本をあわせて提出してください。改氏名を証明できる書類の日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。

注4 本学は二重学籍を禁止しています。出願時に他大学に所属している場合は、入学手続き時に卒業証明書もしくは退学証明書の提出を求めます。

注5 日本国内において連絡先がある場合は、必ず記入してください。

5 入学者選抜及び方法

提出された書類によって選抜します。（面接は行いません。）

6 合格発表

全ての受験者に対して、本人宛にEMS（国際スピード郵便）やレターパック等で令和8年6月19日（金）に発送します。

発送日から1週間を過ぎても書類が届かない場合は、[大学院人間文化研究科入試担当]に問い合わせてください。

※学内掲示及びWeb掲載による発表は行いません。

7 入学手続

(1) 手続期日（予定）

| | |
|----------|----------|
| 手続期日（予定） | 令和8年7月中旬 |
|----------|----------|

(2) 手続方法

・合格通知とあわせて、入学手続案内を送付します。

・入学手続書類（入学料等の納付証明書など）を本学あに送付してください。入学料等の納付が確認され次第、大学から「在留資格認定証明書」を入国管理局に請求し、発行されたら入学手続完了者へメールで送付します。

・「在留資格認定証明書」と入学許可書、パスポートを日本大使館又は領事館に提出することにより、留学ビザが交付されます。これらの入学にかかる留学ビザの手続きは、日本に渡航する前に終わらせてください。

(3) 入学手続に必要な経費

ア 入学料（現行） 名古屋市住民等 69,600円

その他の者 99,600円

イ 学生教育研究災害傷害保険料 1,000円

注1 上記は令和8年4月入学者の金額です。令和8年度後期については改めて通知します。

注2 名古屋市住民等とは、入学者又は入学者の配偶者、若しくは1親等の親族が入学の日において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注3 入学料等は入学手続時まで金融機関で納入してください。既納の納付金は、返還しません。

8 授業料

年額 356,400円（前期・後期分 各 178,200円）

注1 授業料は入学後、年2回（前期・後期）に分けて引落を実施します。

注2 上記は令和8年4月入学者の金額です。令和8年度後期については改めて通知します。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の授業料を適用します。

注3 必要諸経費について別途徴収することがあります。

9 注意事項

- (1) 障害等により、修学上特別な配慮を希望する者は、出願書類提出期限までに「大学院人間文化研究科入試担当」までメールで申し出てください。
- (2) 出願書類等に不備がある場合は受理しません。(入学検定料や手数料の不足がある場合も不備として扱います)
- (3) 出願書類等に虚偽の記載した者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願書類等は返却しません。
- (5) 原則として納入された入学検定料は、返金しません。
- (6) 入学期日までに正規の入国手続を済ませることができない場合は、入学許可を取り消すことがあります。入国許可の詳細については、下記機関に問い合わせてください。

名古屋出入国在留管理局

〒455-8601 名古屋市港区正保町5丁目18番地
[インフォメーションセンター] 0570-013904
(IP、海外:03-5796-7112)
[留 学 審 査 部 門] 0570-052259

- (7) 出願書類の連絡先・住所、メールアドレス等は、必ず連絡が取れるものを記載してください。出願書類の不備等で連絡することがあります。連絡が取れないことにより出願書類が揃わない場合は、出願不受理となりますので注意してください。

10 個人情報の取扱い

個人情報については、名古屋市個人情報保護条例に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 個人情報の利用

- ア 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うために使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を今後の入学者選抜及び大学院教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。(個人が特定できない形で行います。)
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用にあたっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

11 緊急時における大学からのお知らせ

災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容を変更する必要がある場合には、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。また、受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、出願書類には必ず連絡の取れる連絡先を記載してください。

本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

大学院人間文化研究科 外国人研究生制度の概要

1 目的

人間文化研究科の博士前期課程に入学するために必要な基礎学力と日本語能力を身につけたいと考える外国人を研究生として受け入れるものです。

2 在学期間

2027年3月までの半年間（ただし、1回に限り1年以内の期間で延長が認められることがあります。）

3 カリキュラム

外国人研究生は、指導教員の下、各学期において次に掲げる人文社会学部の授業科目を受講します。

- ・指導教員が担当する演習（「専門演習」等） 1科目
 - ・専門教育科目（集中講義科目を除く。） 6科目以上
- 合計7科目以上

4 教員（指導教員を選ぶにあたり、参考にしてください。）

（令和7年度の内容は以下の通りです。ただし、令和8年度の内容は変更する場合があります。）

| 氏名 | 職名 | 専門分野 |
|----------------|-----|----------------------|
| 天谷 祐子 | 准教授 | 発達心理学、教育心理学 |
| アンドレア・カスティリオーニ | 准教授 | 日本思想史 |
| 石川 優 | 准教授 | ポピュラー文化研究・マンガ研究・文学理論 |
| 市川 哲 | 准教授 | 観光学 |
| 上田 敏丈 | 教授 | 保育・幼児教育学 |
| 江口 啓子 | 准教授 | 日本文学 |
| 大石 真澄 | 講師 | メディア研究、エスノメソドロジー |
| 岡部 真智子 | 准教授 | 社会福祉学、地域福祉、居住福祉 |
| 梶浦 真由美 | 准教授 | 第二言語習得、英語教育 |
| 川戸 貴史 | 教授 | 日本中世史・社会経済史・海域アジア史 |
| 川本 徹 | 准教授 | アメリカ文学・映画 |
| 菊地 夏野 | 准教授 | ジェンダー/セクシュアリティ研究 |
| 久保田 健市 | 教授 | 社会心理学 |
| 高坂 博史 | 講師 | 国際政治学、国際関係史 |
| 古賀 弘之 | 教授 | 音楽教育学 |
| 佐藤 美弥 | 准教授 | 文化資源学・日本近現代史 |
| 椎名 渉子 | 准教授 | 日本語学 |
| 杉浦 克哉 | 准教授 | 英語学、歴史的統語論、生成文法 |
| 杉山 有沙 | 准教授 | 憲法学 |
| 曾我 幸代 | 准教授 | E S D |
| 谷口 由希子 | 准教授 | 社会福祉学・児童福祉論 |
| 布井 雅人 | 准教授 | 認知心理学 |
| 林 浩一郎 | 准教授 | 都市社会学 |
| 樋澤 吉彦 | 教授 | 社会福祉援助技術研究 |
| 平田 雅己 | 准教授 | 現代アメリカの政治 |

| | | |
|--------|-----|-----------------------------|
| 前林 英貴 | 准教授 | 小児保健 |
| 松村 智史 | 准教授 | 社会保障論、社会福祉学、行政学 |
| 馬渡 玲欧 | 講師 | 環境社会学、社会学史、社会理論 |
| 三浦 哲司 | 准教授 | 現代地方自治研究 |
| 宮下 さおり | 教授 | 労働社会学 |
| 毛利 雅子 | 教授 | 異文化コミュニケーション |
| 山田 敦 | 教授 | 日本植民地社会経済史 |
| 山田 翔太 | 講師 | 国際開発学、南アジア地域研究 |
| 山田 美香 | 教授 | 比較教育学・教育史 |
| 山本 明代 | 教授 | 東欧及びアメリカの近現代史・多文化社会論 |
| 吉田 輝美 | 教授 | 高齢者福祉 |
| 吉永 和加 | 教授 | 近現代フランス哲学、他者論 |
| 米川 和雄 | 准教授 | スクールソーシャルワーク論、精神保健福祉学、福祉心理学 |
| 渡部 朗子 | 准教授 | 民事法学 |

注 出願に際しては、事前に各教員の研究内容等を人間文化研究科のウェブサイト又は名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）で確認の上、指導を希望する教員に連絡し、研究内容等について相談してください。

人間文化研究科のウェブサイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/>

名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）

<https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/search/index.html>

※上記ウェブサイトに関連先が掲載されていない教員については、名古屋市立大学山の畑事務課 人間文化研究科担当（TEL：052-872-5808）にお問い合わせください。

【敷地内全面禁煙について】

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております